



集成館周辺散策地図 磯地区



「吉野疎水」集成館側水路跡

関吉の取水口から約7Kmの疎水溝を
経て導かれた水はシラス台地から勢
いよく流れ落ち、集成館工場群の水車
動力や、用水に利用された。

高炉(熔鋳炉)跡

大砲などの原料となる鉄を製造する
ために西洋式の熔鋳炉がここに
建造されていた。



旧集成館機械工場(現尚古集成館)

集成館で使われたさまざまな機械、
機関類を整備補修するための工場。
火山由来の凝灰岩で壁を造った日本
最古の洋式石造機械工場で、現在は
博物館として使われている。

薩摩ガラス工芸
薩摩切子製造工場

旧島津家野々野
金山鉱業事業所
*現スターバックス

旧島津家吉野殖林所
*現磯工芸館

異人館
新管理棟

異人館前

Joyful

セブイレブン

異人館見学者
駐車場

鳥越トンネル

至：鹿児島中央駅
城山

至：鹿児島駅、桜島桟橋方面

至：霧島方面
鹿児島空港

望嶽楼

正門

カゴシマシティビュー
まち巡りバス
タクシー等のりば

水天淵発電所妻壁

鶴灯籠

名跡庭園
仙巖園

御殿

運過池

曲水の庭

水力発電用
貯水槽

鳥越トンネル

至：鹿児島中央駅
城山

至：鹿児島駅、桜島桟橋方面

至：霧島方面
鹿児島空港

望嶽楼

正門

カゴシマシティビュー
まち巡りバス
タクシー等のりば

水天淵発電所妻壁

鶴灯籠

名跡庭園
仙巖園

御殿

運過池

曲水の庭

水力発電用
貯水槽

鹿兒島世界文化遺産
オリエンテーションセンター

反射炉跡

島津斉彬の推し進めた集成館事業
において、大砲を鋳造するために
高温で鉄を熔かした炉の跡。凝灰
岩で造られた炉の底部構造や基礎
部の石積みが残されている。

鹿児島紡績所跡

1865年に藩命を受けて英国へ密航した
薩摩藩英国留學生の一行には、集成館で
使用する紡績機械や蒸気機関を買い付け
る使節たちが随行していた。紡績所では彼
らが輸入した機械を使って綿花から綿を
打ち、糸を紡ぎ、100台もの織機で織物を
織っていた。できあがった製品は大変上質
だったと記録されている。

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

鹿児島紡績所に蒸気機関や紡績機械を据え
付け、稼働させるために英国人技師たちが
招かれた。彼らは和瓦を葺いたこの木造洋館
を宿舍とし、薩摩の人びとに紡績のノウハウ
を教えた。その成果は日本初の機械式紡績
工場設立という形で実を結び、わが国の紡績
業に多大な功績を残すことになった。

尚古集成館・仙巖園

■開館 8:30-17:30 (年中無休)

■入館料 大人/1000円 小・中学生/500円
*尚古集成館・仙巖園共通

■駐車場 100台(乗用車 3000)

■住所 鹿児島市吉野町9700-1

■TEL 尚古集成館 099-247-1511 仙巖園 099-247-1551

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

■開館 8:30-17:30 (年中無休)

■入館料 200円 小・中学生100円

■駐車場 6台(無料)

■住所 鹿児島市吉野町9685-15

■TEL 099-247-3401

反射炉の築造

海に面した城下を欧米列強の艦船から守るには
大型のカノン砲を並べた砲台が必要であると
考えた薩摩藩は、ヒュゲニンの図面を頼りに
自力で反射炉建設に着手。凹面のドームで火力
を反射させ、放射熱で鉄を熔かして大砲の鋳型
に流し込む施設である。在来の石工技術で切
石を組み、陶工技術で耐火煉瓦を生産。1号炉
は失敗するもその後2号炉が完成。大砲製造
を行った。

鹿児島紡績所の全容

現在は遺構が地中に残るのみとなった鹿児島
紡績所であるが、わが国発の機械式紡績工場
として大きな役割を果たした。動力となる蒸気
機関や紡績機械はイギリスから輸入され、石造
瓦葺きの巨大な工場に設置された。残された
図面からは、原料の綿花を梳いて綿を打ち、糸
を紡ぎ、それをもとに織物を織るための機械
群が整然と設置されていたことがわかる。

蒸気機関と鉄柱

旧集成館機械工場(現尚古集成館)には鹿児島
紡績所で使用された蒸気機関のフライホイ
ールと鉄柱が残る。フライホイールは蒸気
機関の往復運動を安定した回転運動に変える
ための弾み車で、その巨大さは、当時英国
で主流だった紡績用ビームエンジンの採用
を物語る。鉄柱は上部に蒸気機関の動力を
各紡績機械に伝えるための主軸(シャフト)
を支える機能を持っていた。

薩摩切子と薩摩焼

薩州鹿児島島取図には集成館を構成する
工場群が詳細に描かれており、硝子細工所
もある。当初、薬品用のビンなどの製造を
行っていたが、残された製品には船舶用の
明かり取りとなるプリズムなど、大型製品
も見られる。薩摩切子はこうした技術研鑽
の課程で生まれたと考えられるクリスタル
カットグラスで、薩摩焼とともに外国人への
土産や、輸出用としても生産されていた。



通橋

高爐(高炉)

潤滑台

水路

蒸気方織工所

硝子細工所

反射炉

鳥越トンネル

至：鹿児島中央駅
城山

至：鹿児島駅、桜島桟橋方面

至：霧島方面
鹿児島空港

望嶽楼

正門

カゴシマシティビュー
まち巡りバス
タクシー等のりば

水天淵発電所妻壁

鶴灯籠

名跡庭園
仙巖園

御殿

運過池

曲水の庭

水力発電用
貯水槽

鹿兒島世界文化遺産
オリエンテーションセンター

反射炉跡

島津斉彬の推し進めた集成館事業
において、大砲を鋳造するために
高温で鉄を熔かした炉の跡。凝灰
岩で造られた炉の底部構造や基礎
部の石積みが残されている。

鹿児島紡績所跡

1865年に藩命を受けて英国へ密航した
薩摩藩英国留學生の一行には、集成館で
使用する紡績機械や蒸気機関を買い付け
る使節たちが随行していた。紡績所では彼
らが輸入した機械を使って綿花から綿を
打ち、糸を紡ぎ、100台もの織機で織物を
織っていた。できあがった製品は大変上質
だったと記録されている。

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

鹿児島紡績所に蒸気機関や紡績機械を据え
付け、稼働させるために英国人技師たちが
招かれた。彼らは和瓦を葺いたこの木造洋館
を宿舍とし、薩摩の人びとに紡績のノウハウ
を教えた。その成果は日本初の機械式紡績
工場設立という形で実を結び、わが国の紡績
業に多大な功績を残すことになった。

尚古集成館・仙巖園

■開館 8:30-17:30 (年中無休)

■入館料 大人/1000円 小・中学生/500円
*尚古集成館・仙巖園共通

■駐車場 100台(乗用車 3000)

■住所 鹿児島市吉野町9700-1

■TEL 尚古集成館 099-247-1511 仙巖園 099-247-1551

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

■開館 8:30-17:30 (年中無休)

■入館料 200円 小・中学生100円

■駐車場 6台(無料)

■住所 鹿児島市吉野町9685-15

■TEL 099-247-3401

- 集成館周辺モデル散策路
集成館周辺の主要な遺構や建築をめぐる散策コース
- 有料施設内の散策路
仙巖園・尚古集成館や異人館など、有料施設の内部も
見学する散策路

0 50 100 200m



幕末の薩摩藩は欧米列強のアジア進出に危機
感を抱き、いち早く対応しようと試みた。中
でも島津斉彬は産業や軍備の近代化が急務で
あると考え、富国強兵と殖産興業を唱えたの
である。集成館事業はその具体策として計画
され、製鉄やガラス、陶器、薬品、織物などの製造
をはじめ、艦船の建造、大砲などの武器製造や
蒸気機関、電信、写真などの技術開発に至る
まで幅広く研究、製造を試みた。これらの研究、
生産施設群は1850年代初頭から1860年代と
いう極めて短い期間に整備、構築されている。
集成館事業はまさしくわが国における産業
革命のさきがけであり、関連する遺産群は日本
近代化の源となった大事業の痕跡を未来に
伝えるものである。



集成館事業

「九州近代史」 筑城館家資料 武蔵市蔵 集成館事業之図

鹿児島紡績所機械配置図 尚古集成館所蔵

九州近代史